

和歌山市長  
大橋 建一 様

説明会開催の申し入れ  
広域処理震災ガレキ受け入れについて

3月22日に和歌山市議会で可決された「東日本大震災に伴い発生したガレキの受け入れに関する決議」に対する和歌山市のホームページに市長の考え方が「最終処分場や放射能の基準等の諸問題が解決され次第、市民の皆さんの安全・安心を第一に考えて、受け入れが可能かどうかを検討して行きたいと考えています」と記載されています。

5月9日の毎日新聞に国と大阪府・市の方針が震災がれきの処分場として夢州・大阪湾フェニックスをのの記事が載りました。

その後、市の担当者や複数の情報から、市長は、自らの、がれき受け入れの考え方も市民にいっさい説明もせず、震災がれき受け入れを決めようとしているのではないかと考えられます。

私たちは和歌山市民として、市長が考えている震災がれきに関する和歌山市民の安全・安心とはどのような考えの上に立っているものかを早急に説明して頂きたいと思えます。

2012年5月21日

「子どもたちの未来と被ばくを考える会」

事務所・和歌山市三番丁6番地関西電電ビル4階 金原法律事務所内  
連絡先：事務局長 松浦攸吉 (TEL073-451-5960)